



イメージ写真：兵庫県尼崎市「尼崎市立ユース交流センター」

子ども若者第三の居場所整備に 係るアンケート調査結果報告書

2025 年 3 月 31 日

名張市 福祉子ども部 子ども家庭室

目 次

1. アンケート調査の概要	2
2. Kids サポータークラブへのアンケート結果報告	3
3. 児童・生徒へのアンケート結果報告	5
4. 子育て支援団体へのアンケート結果報告	10
5. 調査結果の分析	15
6. 今後の考え方	18

1. アンケート調査の概要

■調査の目的

本調査は、子ども若者第三の居場所（仮称）名張市ユースプレイスを整備するにあたって、Kids サポータークラブのメンバーや市内の中学校・高等学校・高等専門学校に所属する児童・生徒より、利用に関する意見などを把握すること、また、子どもの支援に携わる子育て支援団体より、支援を実施する際の意見などを把握するために実施しました。

■調査対象

○Kids サポータークラブ

○児童・生徒

中学校 5 校…名張、赤目、桔梗が丘、北、南

高等学校 3 校…名張、名張青峰、英心

高等専門学校 1 校…近畿大学工業

○子育て支援団体

子育てサークル連合会、PTA 連合会、名張子ども・地域食堂連絡会

※この 3 団体の下部組織及び関連団体などに回答への協力を要請

■調査方法

Web 回答フォームの二次元コードが記載された案内を配布し、二次元コードを読み取ることで回答

■調査期間

Kids サポータークラブ…令和 6 年 9 月 14 日の養成講座にて回答協力

児童・生徒…令和 7 年 1 月 15 日配布、1 月 27 日返信期限

子育て支援団体…令和 7 年 1 月 31 日配布、2 月 10 日返信期限

■回答状況

Kids サポータークラブ…21

児童・生徒…485

子育て支援団体…29

2. Kids サポータークラブへのアンケート調査結果

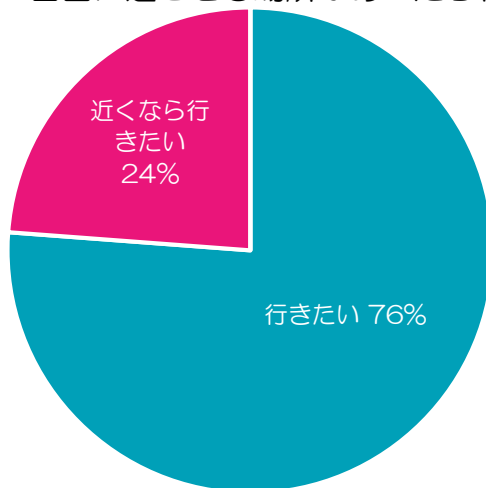
Q1 学校名 (N=21)

小学校							中学校				高校	大学			不明
名張	蔵持	美旗	箕曲	桔南	桔東	百合	名張	桔梗	赤目	南	青峰	奈良女子	龍谷	京都橘	
1	1	1	1	3	1	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1

Q2 住んでいる住所の小学校区 (N=21)

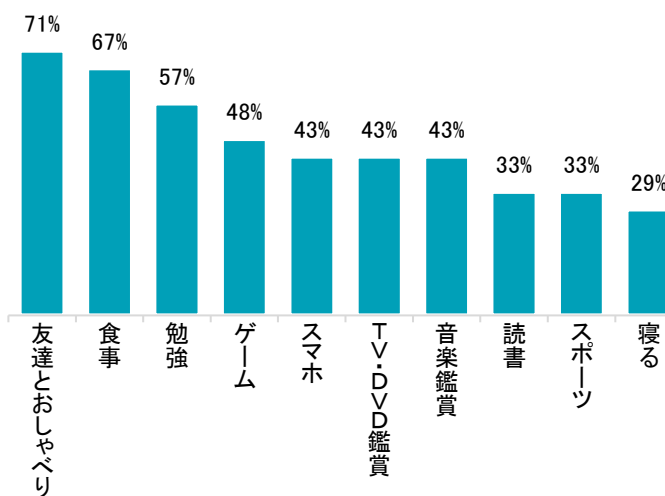
名張	蔵持	美旗	箕曲	桔梗	桔梗東	百合
4	4	1	3	4	3	2

Q3 自由に過ごせる場所があったら行きたいか (N=21)



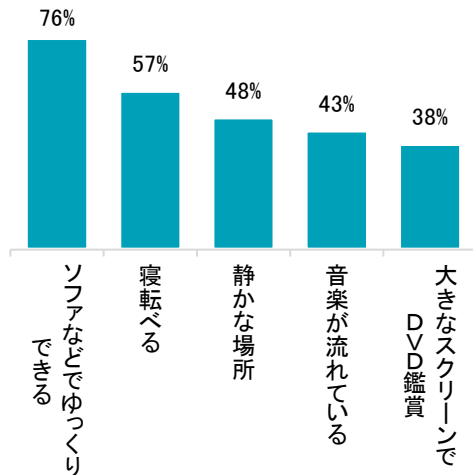
内容	人数
行きたい	16
近くなら行きたい	5
行きたくない	0

Q4 自由に過ごせる場所があったらその場所で何をしたいか ※複数回答



内容	人数
友達とおしゃべり	15
食事	14
勉強	12
ゲーム	10
スマホ	9
TV・DVD鑑賞	9
音楽鑑賞	9
読書	7
スポーツ	7
寝る	6

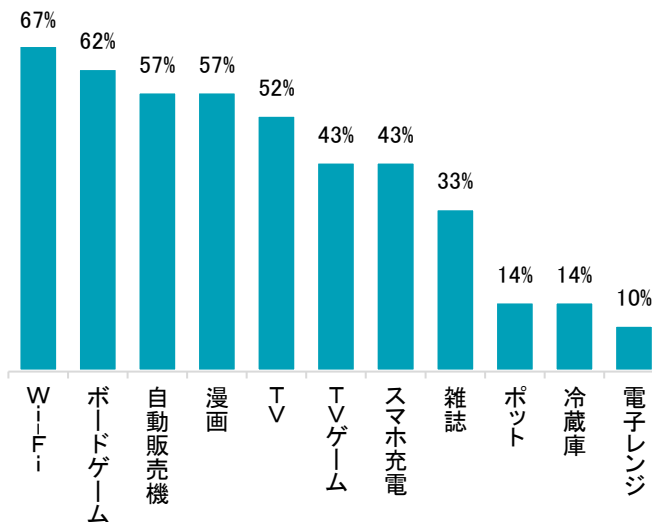
Q5 どんな場所だったら過ごしやすいか ※複数回答



内容	人数
ソファなどでゆっくりできる	16
寝転べる	12
静かな場所	10
音楽が流れている	9
大きなスクリーンでDVD鑑賞	8
その他	3

その他: 自分だけの部屋、自由に出入りできる、他の人の目を気にせずに音楽を聴くことができる

Q6 どんな物があったら楽しく過ごせるか ※複数回答



内容	人数
Wi-Fi	14
ボードゲーム	13
自動販売機	12
漫画	12
TV	11
TVゲーム	9
スマホ充電	9
雑誌	7
ポット	3
冷蔵庫	3
電子レンジ	2
その他	2

その他: 卓上ゲーム、机と掃除道具

Q7 設備や部屋、過ごし方をしたいなどの自由意見 ※任意での自由回答

- ・プールやウォータースライダー
- ・クーラーをつけなくても涼しい部屋
- ・24 時間利用可能
- ・子どもが集まる場所
- ・靴を脱いでソファに座ってゲームができる部屋
- ・個室や防音設備があるピアノなど音楽ができる部屋
- ・子どものいるお母さんやお父さんが、子どもの心配せずに過ごせる場所
- ・色々な施設のボランティア(老人ホーム・軽度障がい者施設)
- ・仲のいい人とゲームができる部屋や誰でも入ってもいい部屋などに分ける
- ・机と椅子がある。ある程度の広さが欲しい。
- ・駅前もしくは徒歩で行けるなど、行きやすい場所
- ・行ったらスタンプなどの特典があると嬉しい。
- ・名張のイベントや求人情報などを知りたい。
- ・友達と自由に過ごしたい
- ・転んでも痛くない人工芝の広場
- ・ゆっくりとできる場所
- ・静かで落ち着ける場所

3. 児童・生徒へのアンケート結果報告

Q1 学校名 (N=485)

中学校				高校				高専	答えたくない	テストで来ていた
名張	桔梗	北	赤目	名張	青峰	英心	津	近大高専		
6	9	10	3	2	44	48	1	345	16	1

Q2 学年 (N=485)

中学校			高校・高専～3年			高専4年～				答えたくない
1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年	5年	専攻1年	専攻2年	
8	7	15	145	157	53	46	51	1	2	0

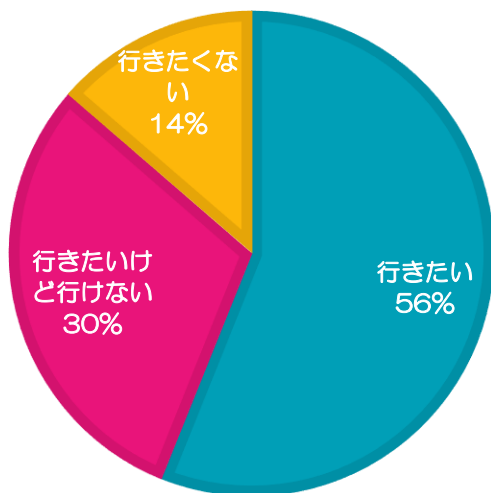
Q3 住んでいる市町村 (N=485)

名張市	伊賀市	津市	三重県 その他	奈良県	その他	答えたくない
218	73	29	43	80	29	13

Q4 (Q3で「名張市」と答えた人のみ) 住所地の小学校区 (N=218)

名張	蔵持	薦原	比奈知	美旗	箕曲	錦生 赤目	桔梗	桔梗南	桔梗東	つつじ	すずらん	梅	百合	分からない
31	7	9	16	12	4	6	20	4	5	26	10	14	26	28

Q5 自由に過ごせる場所があったら行きたいか (N=485)

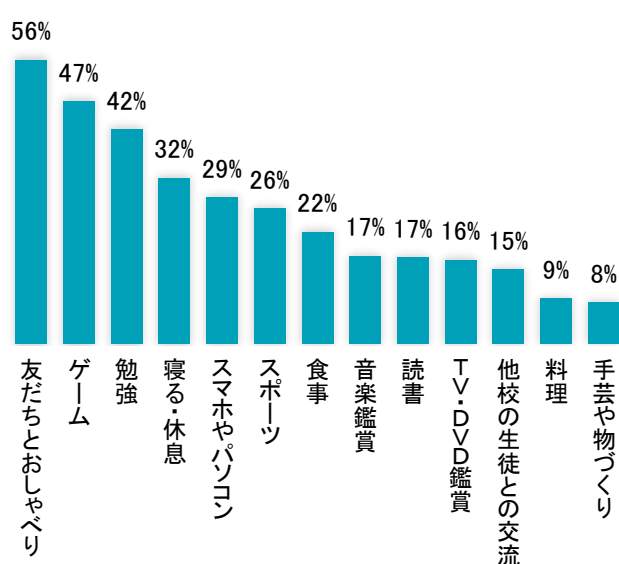


内容	人数
行きたい	272
行きたいけど行けない	147
行きたくない	66

Q6 (Q5で「行きたくない」と答えた 66 人に) 行きたくない理由
※任意での自由回答を内容により分離・集約

内容	人数
家がいい	16
遠い	14
行く理由がない	8
めんどくさい	4
行きたいと思わない	3
時間がない	2
他に居場所がある	2
どういう場所か分からない	2
静かなところが好き	2
交通費がかかる	1
楽しそうじゃない	1
知り合いが少なく気まずい	1
人に会いたくない	1
パソコンを使うから	1
いろんなことが同じ場所で成立するとは思えない	1
行きたくなるようなイベントがあれば	1
名張りにいなくなるから	1
どちらでもない	1
特になし	3

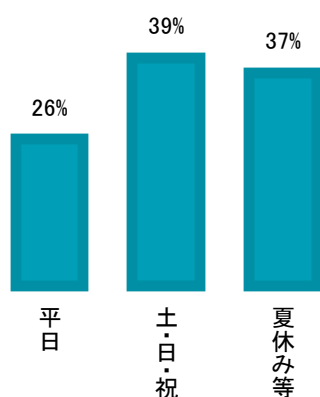
Q7 (Q5で「行きたい」「行きたいけど行けない」と答えた 419 人に)
自由に過ごせる場所があったらその場所で何をしたいか ※複数回答



内容	人数
友達とおしゃべり	233
ゲーム	199
勉強	176
寝る・休息	136
スマホやパソコン	120
スポーツ	111
食事	92
音楽鑑賞	72
読書	71
TV・DVD鑑賞	69
他校の生徒との交流	61
料理	37
手芸や物づくり	34
その他	3

その他:就職、ライブ、ない

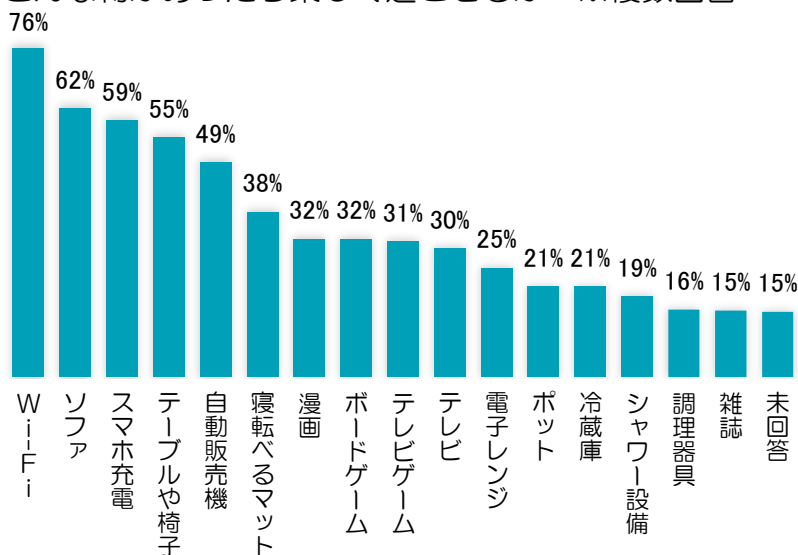
Q8 (Q5で「行きたい」「行きたいけど行けない」と答えた419人に)
自由に過ごせる場所をいつ利用したいか ※複数回答



内容	人数
平日	108
土・日・祝	164
夏休み等	154
その他	5

その他:いつでも空いている方がいい、勉強、部活がオフの日、学校帰りに自習室のように使いたい、分からない

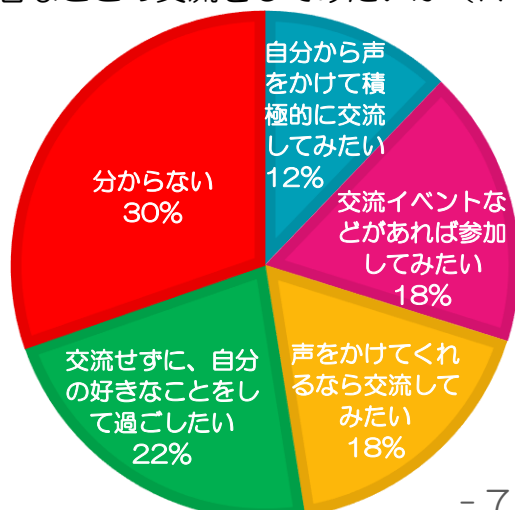
Q9 (Q5で「行きたい」「行きたいけど行けない」と答えた419人に)
どんな物があったら楽しく過ごせるか ※複数回答



内容	人数
Wi-Fi	317
ソファ	259
スマホ充電	247
テーブルや椅子	231
自動販売機	207
寝転べるマット	159
漫画	133
ボードゲーム	133
テレビゲーム	131
テレビ	124
電子レンジ	105
ポット	87
冷蔵庫	87
シャワー設備	78
調理器具	65
雑誌	64
未回答	63
その他	4

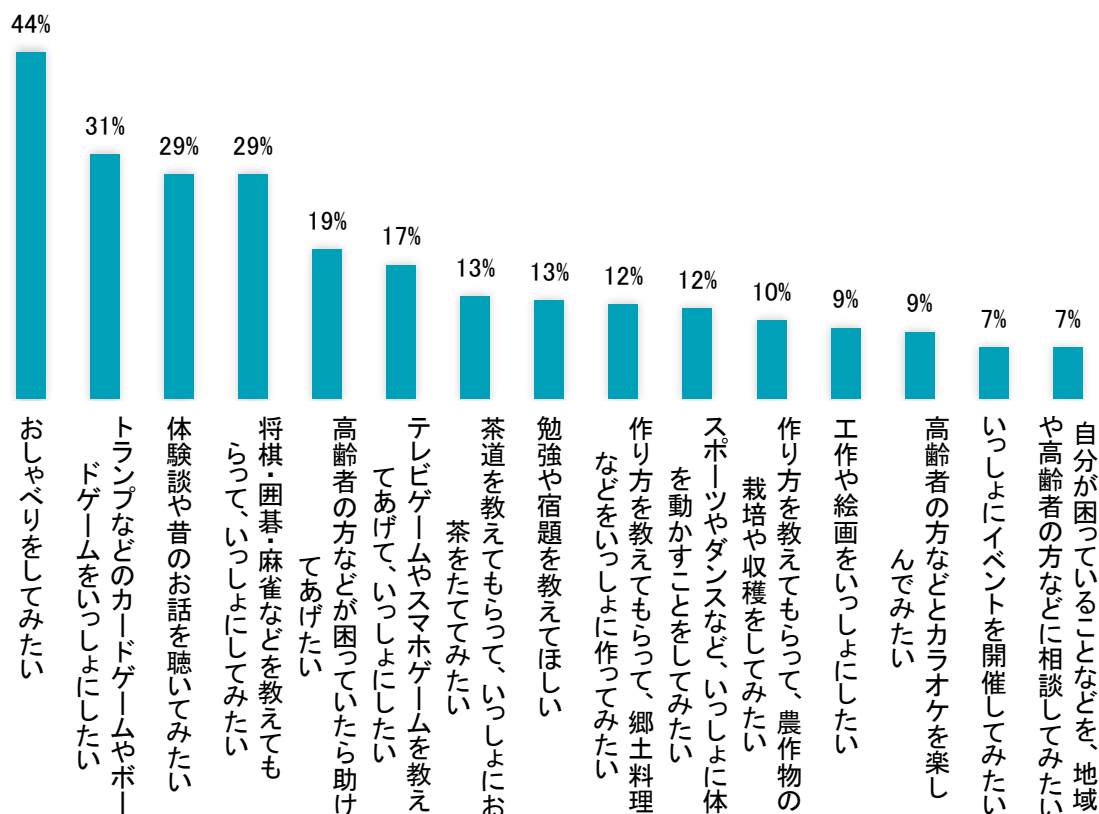
その他:電車やバスの発車時間が表示される電光掲示板、ドラム・ギターアンプ・ベースアンプ、雀卓、中学生や高校生にすすめる本

Q10 (Q5で「行きたい」「行きたいけど行けない」と答えた419人に)
高齢者などとの交流をしてみたいか (N=419)



内容	人数
自分から声をかけて積極的に交流してみたい	51
交流イベントなどがあれば参加してみたい	74
声をかけてくれるなら交流してみたい	74
交流せずに、自分の好きなことをして過ごしたい	93
分からない	127

Q11（Q10で「自分から声をかけて積極的に交流してみたい」「交流イベントなどがあれば参加してみたい」「声をかけてくれるなら交流してみたい」と答えた199人に）高齢者などと、どのような交流活動・行事等があれば参加したいですか（複数回答）



内容	人数
おしゃべりをしてみたい	88
トランプなどのカードゲームやボードゲームをいっしょにしたい	62
体験談や昔のお話を聴いてみたい	57
将棋・囲碁・麻雀などを教えてもらって、いっしょにしてみたい	57
高齢者の方などが困っていたら助けてあげたい	38
テレビゲームやスマホゲームを教えてあげて、いっしょにしたい	34
茶道を教えてもらって、いっしょにお茶をたててみたい	26
勉強や宿題を教えてほしい	25
作り方を教えてもらって、郷土料理などをいっしょに作ってみたい	24
スポーツやダンスなど、いっしょに体を動かすことをしてみたい	23
作り方を教えてもらって、農作物の栽培や収穫をしてみたい	20
工作や絵画をいっしょにしたい	18
高齢者の方などとカラオケを楽しんでみたい	17
いっしょにイベントを開催してみたい	13
自分が困っていることなどを、地域や高齢者の方などに相談してみたい	13
その他:映画鑑賞	1

Q12 設備や部屋、過ごし方をしたいなどの自由意見 ※任意での自由回答

静かな環境 42人

- ・個室や仕切られたスペース（8人）
- ・静かに過ごせる部屋（6人）
- ・休息できるスペース（9人）
- ・寝られるスペース（9人）
- ・静かなスペースと自由にしてよい部屋を分ける（9人）
- ・小学生と20代が同じ場所で過ごすことは可能か（1人）

学習環境 22人

- ・勉強や自習スペース（20人）
- ・勉強を教えてくれる先生（2人）

空調・インテリア 16人

- ・ソファや畳など安らぐ設備（7人）
- ・冷暖房やこたつ（4人）
- ・ロッカー（1人）
- ・伝言板（1人）
- ・広い部屋（1人）
- ・木目調の部屋（1人）
- ・スタバのようなおしゃれな所（1人）

インターネット環境 9人

- ・Wi-Fiなどのネット環境（7人）
- ・コンセントや充電器（2人）

遊びの環境 24人

- ・遊具や遊び場（3人）
- ・ゲーム（6人）
- ・卓球台（1人）
- ・プロジェクターなど（3人）
- ・友だちとたくさん遊べる（2人）
- ・将棋（1人）
- ・テレビ（1人）
- ・プリクラ（2人）
- ・本棚や漫画（4人）
- ・ファッション雑誌（1人）

食事 13人

- ・イートスペース（3人）
- ・購買所（5人）
- ・調理場所や器具（3人）
- ・飲料機（1人）
- ・食べ物や飲み物がある（1人）

音楽 13人

- ・楽器が演奏できる場（5人）
- ・ピアノなど楽器がある（4人）
- ・カラオケ（2人）
- ・映画や音楽鑑賞の場（2人）

運動 13人

- ・運動やスポーツができる（8人）
- ・ジム器具（2人）
- ・温水プール（1人）
- ・球技ができる（2人）

交流 8人

- ・友だちづくり（3人）
- ・友人など大勢で過ごす（3人）
- ・個人や少人数のスペース（1人）
- ・大勢でゲームを考える（1人）

趣味などの作業 3人

- ・衣装作りなど裁縫（2人）
- ・物づくり（1人）

相談や癒しの場 9人

- ・悩み相談ができる場（1人）
- ・宿泊できる場（2人）
- ・いつでも安心していける場（2人）
- ・心地よい場（1人）
- ・疲労時に心も体も癒せる場（1人）
- ・ネットカフェのような場（2人）

ロケーションや交通 4人

- ・各地域に居場所を作る（1人）
- ・無料のバスなど（3人）

その他 4人

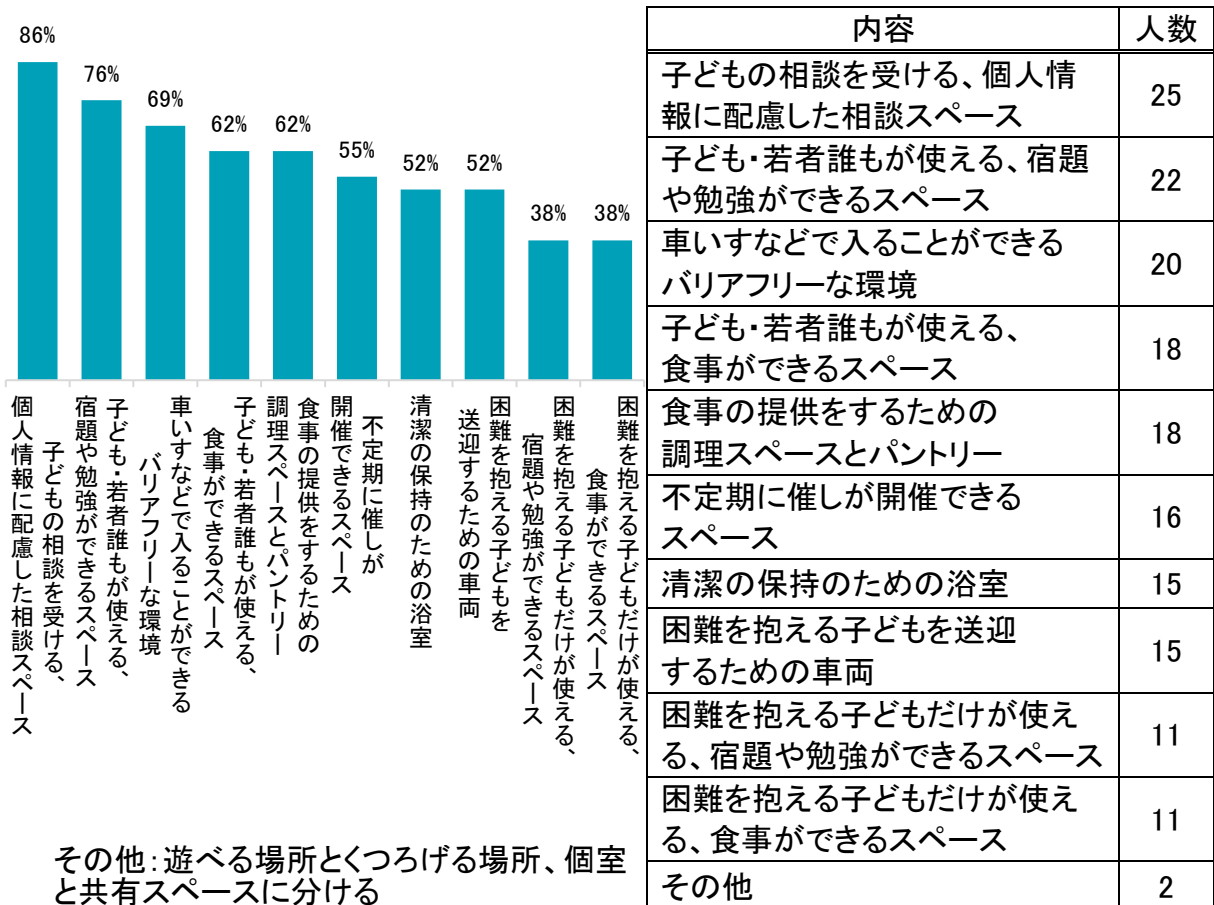
- ・めんどくさい
- ・USJ
- ・イオンモール
- ・なし

4. 子育て支援団体へのアンケート結果報告

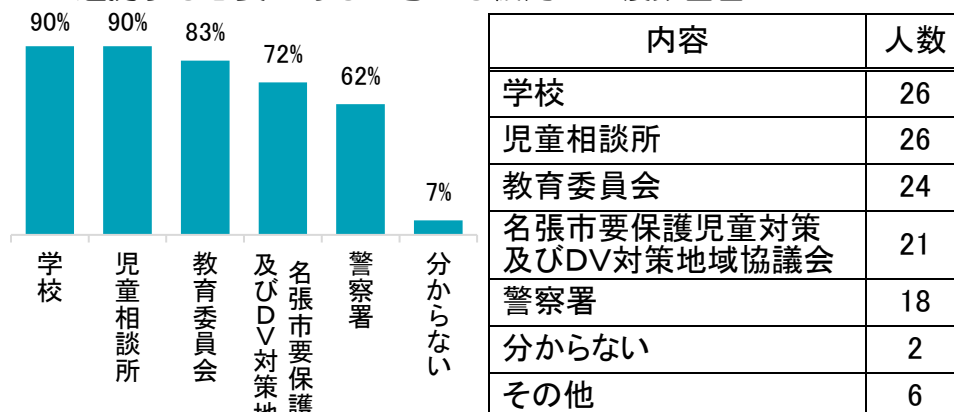
Q1 団体の種別 (N=29)

PTA	地域	子ども食堂	子育てサークル	記載なし
11	9	6	2	1

Q2 困難を抱える子どもに必要な環境 ※複数回答



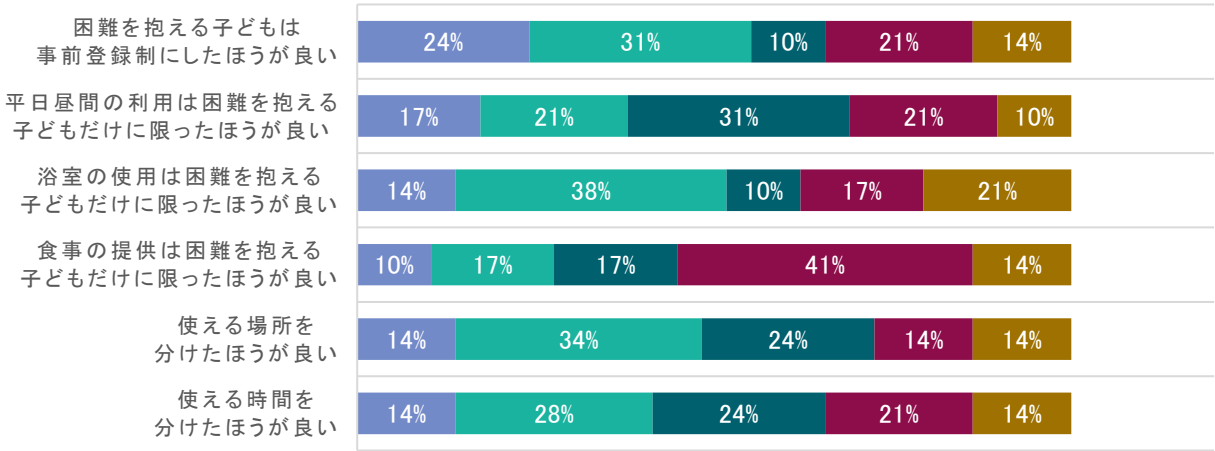
Q3 連携する必要があると考える機関 ※複数回答



その他: 民間支援団体 2、家族や近所が気付くこと、既にある居場所、心理カウンセラーなど相談員、民生委員や主任児童委員

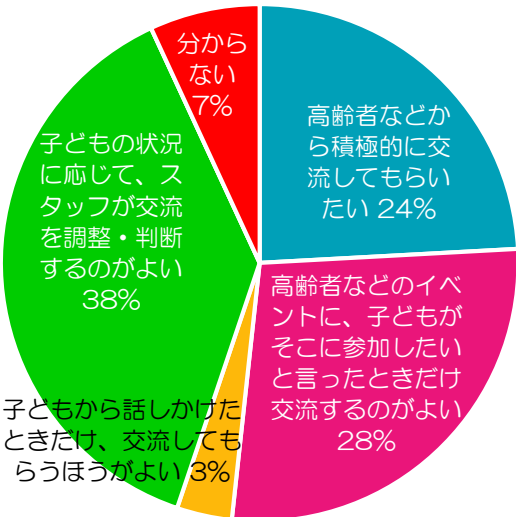
Q4 困難を抱える子どもの居場所と、誰でも利用できる居場所が共存することについて、配慮すべき点 (N=29)

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない



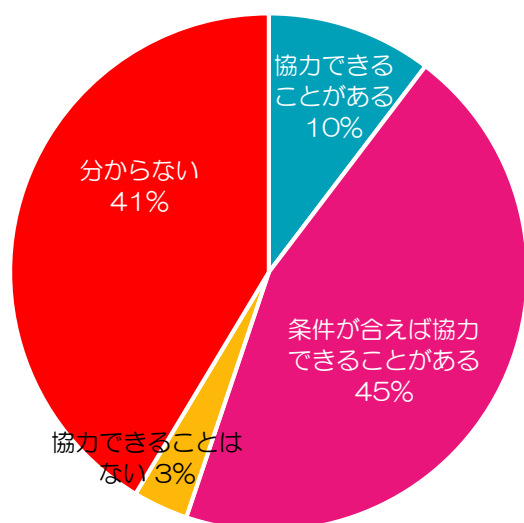
内容	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	分からない
使える時間を分けたほうが良い	4	8	7	6	4
使える場所を分けたほうが良い	4	10	7	4	4
食事の提供は困難を抱える子どもだけに限ったほうが良い	3	5	5	12	4
浴室の使用は困難を抱える子どもだけに限ったほうが良い	4	11	3	5	6
平日昼間の利用は困難を抱える子どもだけに限ったほうが良い	5	6	9	6	3
困難を抱える子どもは事前登録制にしたほうが良い	7	9	3	6	4

Q5 困難を抱える子どもと高齢者の方などとの交流について、近い考え方を一つ選んでください。 (N=29)



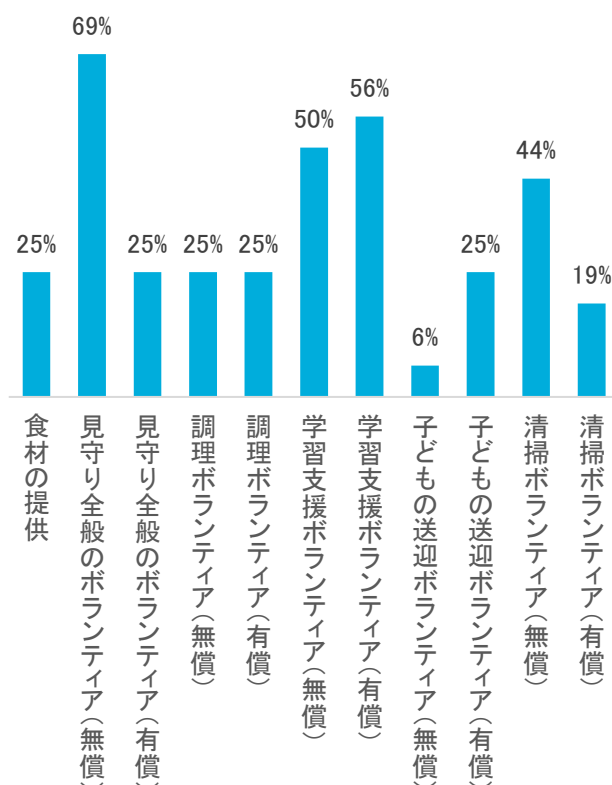
内容	人数
高齢者などから積極的に交流してもらいたい	7
高齢者などのイベントに、子どもがそこに参加したいと言ったときだけ交流するのがよい	8
子どもから話しかけたときだけ、交流してもらうほうがよい	1
子どもの状況に応じて、スタッフが交流を調整・判断するのがよい	11
高齢者などの大人は子どもと交流しないようにすべき	0
分からない	2

Q6 子ども・若者の第三の居場所に、支援団体として協力できることはありますか。 (N=29)



内容	人数
協力できることがある	3
条件が合えば協力できることがある	13
協力できることはない	1
分からない	12

Q7 (Q6で「協力できることがある」「条件が合えば協力できることがある」と答えた16人に) どんなことが協力をできますか ※複数回答



内容	人数
食材の提供	4
見守り全般のボランティア(無償)	11
見守り全般のボランティア(有償)	4
調理ボランティア(無償)	4
調理ボランティア(有償)	4
学習支援ボランティア(無償)	8
学習支援ボランティア(有償)	9
子どもの送迎ボランティア(無償)	1
子どもの送迎ボランティア(有償)	4
清掃ボランティア(無償)	7
清掃ボランティア(有償)	3

Q8 子ども・若者の第三の居場所についての自由意見

※任意での自由回答 回答数 20

- 子どもがいつでも安心できる居場所があって、話を聞いてもらったり相談できる環境は必要だと思います。子どもにとって一番必要なのは愛されていると感じられて、安心できる場所がある事だと思います。
- 拠点を1カ所にして、規模を大きくするのじゃなくて、小さくても、子供が歩いて気軽に行ける場所を作ってあげた方が良いと思う。
- 私は子供が生後6ヶ月で産後うつになりました。市役所やふれあいの方にお世話になりながら子育てしてました。名張は0~6歳については子供預かりやサポートが手厚いです。ですが、小学校に入ってからが子供の放課後や夏休みなどの居場所に困ってます。幼稚園のように学童にもスポットを作って欲しいくらいです。さらには中学、高校でも同じような状態が出ているのでしょうか。第三の居場所アンケートで感じたことは手広くすると無理が出そうだと言うことです。一部は児童家庭支援センターさんやファミサポなどに任せて。ふれあいさんの「おもちゃ図書館」さんみたいにふらっと来て集える場所くらいから始めた方が無理がないように感じてます。お母さんの休憩所でしたが、話し相手がいるだけで嬉しかったりします。団体の中でお手伝いが出来ますか？との欄がありました。私は今、自分の子育てと仕事と家のこと、病気と向き合うことで手いっぱいです。学習支援は先で自分が落ち着いたらやってみたいと感じてます。ただお風呂や料理もある場合はどこかで無理が出そうなので有償を考えた方がいいかもしれません。私も泣きそうになりながら子供のために保育園料出してました。年配の方と子供がふれあうことは賛成です。祖父母と住んでる、または近くにいる家の子ほどしっかりしていると感じてます。傷つきやすい子供が多いです。周囲に教えて貰えないことに何か気づいたら優しく諭してあげて欲しいです。そんな意味で交流に賛成します。送迎はナッキー号の臨時便とかどうでしょうか。車に乗れない時に活用してました。参考になれば幸いです。とても素敵な案なので良い場所が出来ることを祈っております。
- 困難を抱える子は、「生きづらさを感じる子」と表示して欲しいです。その子(人)が悪いのではなく身の回りの人や環境により当事者となってしまった。第3の居場所もできれば「誰もひとりぼっちにせいへん！場所」等一緒にやる気持ちを伝えていきたいです。送迎について、必要な時もあるかもしれません。できれば、養育者(家族)の同伴がいいです。家族さんは、当事者さんのことで悩み、ともに辛さを持っておられます。第3者が居ることで、くつろぎ安心感で落ち着きを取り戻せるかもしれません。最終的には、家族になってほしいです。表面的に物や食事を提供しても一時だけです。みんなの協力があれば、時間はかかりますけど悪くはならないと期待できます。今の小学生は、しっかりと自己主張できる子たちが多いです。もう少し年齢が上になると、社会とのつながりがないので見つけれられるか、むずか

しいです。支援者について、最初は、1人の当事者さんに同じ人が関わるのがよさそうです。支援者さんの養成は、特別に必要です。社会は移り変わりがあって支援者さんは、学び続けていくことも必要になります。食事の提供は、若者の食事の好みや味付け盛り付け等が難しい。調理してくれる人がたくさんいてくれれば良いのですが難しいです。定期的に利用者さんが来られるならできるかもしれませんが、どちらかでしたら業者さんに出店して頂き一般の方が利用できれば喜んでもらえるかもしれません。利用希望者さんの窓口も、支援者さん同様に責任ある対応ができるように誰もがわかるように、お願いいたします。相談に他市町へ出て行かれる人もおられるので、他市町との連携も必要かと思います。長くなりました、お役に立てば嬉しいです。

- しっかり固めて建設的に進めて良い形で実現できたらと思います。
- 子供、若者でも過ごしやすい空間を作った方がよい。
- 学校、家庭以外の第三の場所を作るとは、困難を抱える子どもだけでなく、みんなが一緒になって楽しむことができると思うのでとてもいいと思います。
- サークル活動でふれあいセンターを利用しています。現時点ではふれあいフェスティバルなどイベントがあるときには盛り上がっていて、ないときには静かな環境です。第三の居場所ができたときには、自分が行きたいと思ったときに集える場所になるといいなと思います。
- 子供が色々な人と話せる場所を作ってほしいです。
- アクセスのしやすさと、開かれている度合いが重要だと思う。
- 「高齢者の方々」から「子どもたち」へ積極的な話しかけはしていただきたいと思いますが、「子どもたち」の状況等を十分にご理解いただく時間が必要に感じます。熱心のあまりつい不用意な言葉を発して子どもを傷つけることがあります。そのことが不安ではありますが、顔を知り声を覚えていく間に双方で自然に会話が進まないかと希望を持ちます。当初はスタッフさんの交流調整も必要に思います。
- 子どもが図書館で勉強したい時に開放されてなくて驚きました!!気軽に使える場所があればいいのと思います。困難を抱える子どもと言ってもその困難は千差万別で、具体的にはまだわかりませんが、その子の居場所や、役割がある場になるといいなと思います。
- この件については知識や経験が足らず、アンケートに答えることにも抵抗を感じます。本当に申し訳ないと思います。

- 責任問題が伴ってきます。主導はあくまで市が進めていただき、地域はあくまで補助的な役割であれば多く共感されると思います。
- 対象者が足を運びやすい場所になって欲しいです。対象者の利用が定着化するのに時間のかかる場所だと考えています。利用人数が少なくても、廃止や別の事業に使用されないよう、議決権を持つ市長や市議さんなどのご理解をいただきたいです。ずっと続きますように。
- 団体として協力できるか分からないけど、軽い清掃とかなら全然やってもいいと思う(無償)フードバンクみたいな事をしたら食べ物は集まりそうだった。
- 図書館みたいにいつでも誰でも行けて、緊張しない場所は良いと思います。
- この件について考えたことがなかったので実現すると良いなと思いました
- 家以外に少しでも外の社会と触れ合う場所になればよいかと思う。
- 高齢者との交流、虐待等子どもの経験によって辛い子もいるはずで、あまりオープン過ぎるのもどうかと思います。困難を抱える子とそうでない子の場所や時間の線引はし過ぎてもしなさ過ぎでも苦しいものがあります。やんわりと上手にしてほしいです。食事の提供については、カフェみたいになって、事情のある子は無償で、一般の子は有償で提供してもらえたら、と思います。お風呂に入ってもらいたい子はあまりそこに行くのが目立たないような出入口があるといいのではと思います。

5. 調査結果の分析

(1) Kids サポータークラブ 21 人

全員が子ども・若者第三の居場所に「行きたい」「近くなら行きたい」と答えています。

何をしたいかについては、「友達とおしゃべり」が71%、「食事」67%、「勉強」57%、また、どんな場所だったら過ごしやすいかについては、「ソファなどでゆっくりできる」76%、「寝転べる」57%、「静かな場所」48%といったように、ゆったりと過ごすことを重視する意見が多くなっています。

どんな物があったら楽しく過ごせるかについては、「Wi-Fi」67%、「自動販売機」57%、「漫画」57%となっており、自分が楽しめる物が必要と考える一方、「ボードゲーム」62%といった多人数で楽しめる物の割合も高くなっています。

(2) 児童・生徒 485 人

学年別の回答数では、中学生が 6%、高校生年代が 73%、大学生年代が 21% となり、また、高校年代以上の学校別では、近大高専が生徒数 770 人のうち 345 人が回答 (45%)、英心高校が生徒数 132 人のうち 48 人が回答 (36%) に対して、名張青峰高校が 702 人のうち 44 人が回答 (6%)、名張高校は 629 人のうち 2 人 (0.3%) だった。高校生以上の年代が第三の居場所について興味が高く、高校によっても興味の度合いに差があります。

子ども・若者第三の居場所に、「行きたい」「行きたいけど行けない」86%、「行きたくない」14%で、「行きたくない」理由として「家や他に居場所がある」「行く理由がない」「行きたいと思わない」といった第三の居場所の必要性を感じない人が 44% だった。

「行きたい」「行きたいけど行けない」と答えた人のうち、何をしたいかについては、「友達とおしゃべり」56%、「ゲーム」47%、「勉強」42%、「寝る・休息」32%。いつ利用したいかについては「平日」26%、「土・日・祝」39%、「夏休み等」37%。どんな物があったら楽しく過ごせるかについては、「Wi-Fi」76%、「ソファ」62%、「スマホ充電」59%、「テーブルや椅子」55%。平日よりも学校が休みの日の利用希望が多く、ゆったりできる環境で、友人と過ごすことやゲーム、勉強などができれば良いという意見が多かった。

高齢者などとの交流については、「自分から声をかけて積極的に交流してみたい」12%、「交流イベントなどがあれば参加してみたい」18%、「声をかけてくれるなら交流してみたい」18%、「交流せずに、自分の好きなことをして過ごしたい」22%、「分からない」30%となっており、交流をしてみたいという意見が約半数だった。

高齢者などと交流してみたいと答えた人のうち、どのように交流したいかについては、「おしゃべりをしてみたい」44%、「トランプなどのカードゲームやボードゲームをいっしょにしたい」31%、「体験談や昔のお話を聴いてみたい」29%、「将棋・囲碁・麻雀などを教えてもらって、いっしょにしてみたい」29%といった、高齢者などが持っている知識や技術に興味を示す意見が多かった。

自由意見の中で多かったのが、42 人から意見があった静かな環境に関するもので、うち「休息できる・寝られる場所」18 人、「個室」8 人。学習環境についての意見が 22 人で、うち 20 人が「勉強できる場所」。遊びの環境についての意見は 24 人で、うち「ゲーム」6 人、「本棚や漫画」4 人のほか意見が多岐にわたっている。空調やインテリアについての意見は 16 人で、うち「ソファや畳など安らぐ設備」7 人が最も多かった。食事についての意見が 13 人で、うち「購買所」5 人、「調理場所や器具」3 人、イー

トスペース「3人」となっている。音楽や運動ができる環境については、それぞれ13人から意見があった。その他、この場所で友だちづくりをしたいという意見が3人だった。

(3) 子育て支援団体 29人

所属団体は、PTA関係者11人、地域関係者9人、子ども食堂関係者6人、子育てサークル関係者2人、記載なし1人。

困難を抱える子どもに必要な環境としては、「子どもの相談を受ける、個人情報に配慮した相談スペース」が86%、「子ども・若者誰もが使える、宿題や勉強ができるスペース」76%、「車いすなどで入ることができるバリアフリーな環境」69%となり、困難を抱える子どもだけでなく誰もが使える状況としたうえで安心して相談が受けられる環境を望む声が多かった。

連携する必要があると考える機関としては、「学校」90%、「児童相談所」90%、「教育委員会」83%、「名張市要保護児童対策及びDV対策地域協議会」72%、「警察署」62%となり、学校だけでなく児童相談所との連携が必要という意見が多かった。

困難を抱える子どもの居場所と誰でも利用できる居場所が共存することに配慮すべき点については、「使える時間を分ける」の賛成意見が42%で反対意見が45%、「使える場所を分ける」の賛成意見が48%で反対意見が38%、「食事の提供は困難を抱える子どもだけに限る」の賛成意見が27%で反対意見が58%、「浴室の使用は困難を抱える子どもだけに限る」の賛成意見が52%で反対意見は27%、「平日昼間の利用は困難を抱える子どもだけに限る」の賛成意見が38%で反対意見が52%、「困難を抱える子どもは事前登録制にする」の賛成意見が55%で反対意見は31%だった。

困難を抱える子どもと高齢者の方などとの交流については、「子どもの状況に応じて、スタッフが交流を調整・判断するのがよい」38%、「高齢者などのイベントに、子どもがそこに参加したいと言ったときだけ交流するのがよい」28%と高齢者との交流を肯定的に捉えている意見が多く、「交流しないようにすべき」という意見はなかった。

支援団体として協力できるかについては、「協力できる」「条件が合えば協力できる」を合わせると55%であり、「現時点では分からない」も41%だった。

「協力できる」「条件が合えば協力できる」と答えた人のうち、どんなことが協力できるかについては、見守り全般のボランティア（無償）69%が最も多く、学習支援ボランティア（有償）56%、学習支援ボランティア（有償）50%、清掃ボランティア（無償）44%。そのほかにも、食材提供、調理、送迎などのボランティアも協力できると答えた人が一定数あった。

6. 今後の考え方

リラックスして過ごすことができる環境整備に重点を置き、学習ができる静かなスペースや相談を受けることができるスペースの整備と、リラックススペースと交流スペースを分ける方向で検討を進めていく必要があります。

子どもと高齢者などとの交流については、子ども、支援団体とも肯定的にとらえていますが、どのような形で交流を進めるかを考えていく必要があります。

困難を抱える子どもの居場所と誰でも利用できる居場所が共存することについては、明確に区分けをする必要はないものの、時間やスペースなどについては配慮が必要です。

支援団体のうち、ボランティア協力ができると答えた人が16人だった。運営時のスタッフとして協力をお願いできる可能性があります。